2026年11月11日

各　位

会　社　名　ＨＯＵＳＥＩ株式会社
代 表 者 名　代表取締役社長　多名賀　淳
（コード番号：5035 東証グロース市場）
問 合 せ 先　取締役 兼 執行役員管理本部長　羽入友則
（TEL 03-4346-6600）

特別損失の計上、通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2026年2月13日に開示した2026年12月期（2026年1月1日～2026年12月31日）の業績予想を修正することとしましたので、お知らせいたします。

１．特別損失（のれん減損損失）の計上

海外IT事業セグメントにおいて、中国国内の銀行や証券会社などのお客様を対象とした金融業界向け情報システム事業（以下「金融システム事業」といいます。）について、中期事業計画通りの収益を上げることができていないため、のれん未償却残高全額をのれん減損損失 331,452 千円として特別損失に計上いたしました。

２．業績予想数値の修正について

(1) 2026年12月期　連結業績予想数値の修正（2026年1月1日～2026年12月31日）

	売　上　高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する当期純利益（△は損失）	1 株当たり当期純利益（△は損失）
前回発表予想（Ａ）	百万円 5,200	百万円 240	百万円 240	百万円 170	円　銭 25.03
今回修正予想（Ｂ）	4,376	△219	△209	△596	△88.99
増 減 額（Ｂ－Ａ）	△823	△459	△449	△766	－
増 減 率（　％　）	△15.8	－	－	－	－
（参考）前期連結実績 （2025 年 12 月期）	百万円 4,779	百万円 36	百万円 54	百万円 △195	円　銭 △28.52

(2) 修正の理由

売上高につきましては、4,376百万円に下方修正いたします。主な要因は、国内IT事業セグメントにおいて、①当社が今期中に受注を予定していた大型請負案件2件について、1件は受注時期が約半年遅れ、もう1件については失注し、さらに、受注済みの大型請負案件1件が顧客都合により中止されたことなどにより今期中に計上できる売上高が406百万円程度減少したこと、②新規事業として物流システム事業を手掛ける連結子会社（OmniXuttle株式会社）の事業の立ち上がりが遅れ、売上高が想定を111百万円程度下回る見通しであること、及び海外IT事業セグメントにおいて③中国国内の金融システム事業及び包装印刷物作成ソフトウェア事業について、顧客都合による検収遅れから売上高が想定を247百万円程度下回る見通しであること、などであります。

上記①～③の売上高の減少、当社の開発中の請負開発案件の検収時期が2ヶ月程延期されたことに

よる開発費用の増加、及び円安元高により中国子会社で発生する開発費用が日本円建てで増加したことなどにより、売上総利益も 443 百万円程度減少する見込みであります。この結果、営業利益は 459 百万円減少して 219 百万円の営業損失、経常利益も 449 百万円減少して 209 百万円の経常損失に下方修正いたします。

さらに、前述の通り特別損失としてのれん減損損失を 331 百万円計上いたします。その結果、親会社株主に帰属する当期純損失は 596 百万円となる見込みであります。

（注）上記業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以　上